

災害時、安全に帰宅するための事前準備 3つのスズメがありました（専門家が監修）。まずは自宅や職場の周辺を歩いて確認してみよう。普段から意識していくことが大事ですね。事業場で食料・水の備蓄、必要なグッズ含めていかがでしょうか。

(1) 自分だけの防災マップを作る。ハザードマップ。(2) あらゆる情報を集約した帰宅支援マップが有効 (3) 帰宅困難者の定義って？自宅までの距離が 10km 以内の人は「帰宅可能」。10～20km では、距離が 1km 長くなるごとに帰宅困難となる割合が 10%増加。20km 以上で「帰宅困難」とされる。ただし、二次災害の危険から、近距離でもむやみに移動を開始しないことが大前提とのこと…。私の職場での一コマ、備蓄の食料に「ドライカレー」があり水で食べられる。食べたらずい、水がほしくなる、濃い味付も、要検討食料になった次第です。3 日分の備蓄、今頃ですが、定点でのチェックが必要です。（菅野）

目次

- 1 2023 年 6 月 23 日 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況等について
- 2 新しい時代の働き方に関する研究会 第 9 回資料
- 3 関連情報

- 1 2023 年 6 月 23 日 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況等について
<https://www.mhlw.go.jp/content/001111891.pdf>

令和 5 年第 24 週（令和 5 年 6 月 12 日から令和 5 年 6 月 18 日まで）分の新型コロナウイルス感染症の発生状況を、別紙 1 のとおり取りまとめました。

また、G-MIS（医療機関等情報支援システム）における新型コロナウイルス感染症の新規入院患者数等についても、別紙 2 のとおり取りまとめましたので、あわせてお知らせします。

令和 5 年第 25 週（令和 5 年 6 月 19 日から令和 5 年 6 月 25 日まで）分については、6 月 30 日（金）に公表予定です。

*** 沖縄県で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数が急増。6 月 12～18 日の定点医療機関当たりの報告数は 28.74 人、他県と比べて非常に高い水準との報道も…**（菅野）

- 2 新しい時代の働き方に関する研究会 第 9 回資料

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_SdEz-qGfB0QguBY

○議事次第 [PDF 形式：58KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001111573.pdf>

○資料 労働者の働き方・ニーズに関する調査について（中間報告） [PDF 形式：12.5MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001111574.pdf>

○（追加資料）これまでの議論を踏まえた整理メモ [PDF 形式：241KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001112091.pdf>

<一部抜粋>

変化する労働者と会社の関係

◆会社が労働者に求めること

- 人材育成の面：能力の高度化、経営のパーパス、ミッション・ビジョン・バリューの内部化、高いエンゲージメント
- 能力発揮の面：付加価値を創る仕事と働き方の高度化
自ら考え行動する、柔軟な発想で革新を生む働き
- キャリア形成の面：自律してキャリア形成できること

◆労働者が会社に求めること

- 働き方(働く場所、時間等)の柔軟化と多様化
- キャリア形成の脱組織化志向
能力開発、キャリア形成の「自律化」
組織内に限られない成長できる仕事経験、キャリア形成を重視する職業選択
- ただし、働き方とキャリア形成への伝統的なニーズと新たなニーズが混在する
現実に注意

◆労働者と組織の関係の変化

- 「労働者は会社の指揮命令に従って働く」関係から「労働者は自らに合った働き方・キャリア形成を指向しつつ会社に貢献し、会社は労働者の働き方・キャリア形成を支援しつつ労働者の活用をはかる」関係へ

3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 危険ドラッグの成分3物質を新たに指定薬物に指定

～指定薬物等を定める省令を公布しました～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=k3QZORa4sTvvgLEBY>

新たに指定された指定薬物の名称

[物質1] 省令名：N-(1-アダマンチル)-1-(4-フルオロブチル)-1H-インダゾール-3-カルボキサミド 通称等：4F-ABINACA、4F-ABUTINACA

[物質2] 省令名：2-(4-エトキシベンジル)-5-ニトロ-1-[2-(ピペリジン-1-イル)エチル]ベンズイミダゾール 通称等：N-Piperidinyl Etonitazene、Etonitazepipne

[物質3] 省令名：2-(3-クロロフェニル)-3-メチルモルフォリン 通称等：3-CPM、3-Chlorophenmetrazine

◇ J I L P T から

(1) 「第82回全国産業安全衛生大会 in 名古屋」／中央労働災害防止協会

中央労働災害防止協会は、9月27日(水)～29日(金)の3日間、「第82回全国産業安全衛生大会 in 名古屋」を名古屋市で開催する。化学物質管理やDXなどをテーマに、事業場からの研究発表、専門家の講演など、総数190を超えるプログラムを実施する。

参加費 16,500円。

<https://jisha-taikai2023.com/>

(2) ジェンダー・ギャップ指数の情報を更新、日本は全体の125位／内閣府

内閣府は、21日の世界経済フォーラムの公表を受けて、男女共同参画に関する国際的指数のうち、ジェンダー・ギャップ指数を更新した。日本は、146か国中の125位、教育(高等教育の男女比等)47位、健康(健康寿命の男女比等)59位であるのに対して、経済(管理的職業従事者の男女比等)123位、政治(国会議員、閣僚の男女比等)138位の値が低いとしている。

https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html

(Global Gender Gap Report 2023)

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2023.pdf

(3) 令和5年版「高齢社会白書」を公表／内閣府

内閣府は20日、令和5年版「高齢社会白書」を公表した。2022年時点の65歳以上人口が占める割合は29.0%と増加し、高齢者の就業率も「65～69歳」50.8%、「70～74歳」33.5%とそれぞれ上昇している。健康寿命は男性72.68年、女性75.38年と延伸し、平均寿命と比較しても伸びが大きいと指摘。

特集に「高齢者の健康をめぐる動向」を取り上げ、若い時から健康に心がけ始めた人や、「スポーツ・健康活動」「社会活動」に参加した人のほうが「健康状態が良い」割合が高いことなど、調査の分析結果を紹介している。

(概要)

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/gaiyou/05pdf_indexg.html

(全体版)

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/zenbun/05pdf_index.html

(4) 令和5年版「障害者白書」を公表／内閣府

内閣府は20日、令和5年版「障害者白書」を公表した。第3章の第2節「雇用・就労の促進施策」では、民間企業や国・地方公共団体における障害者の在籍状況、障害のある人の雇用対策(雇用率制度、納付金制度、助成金、職業訓練等)の状況、障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度(もにす認定制度)等について紹介している。

(概要)

<https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/gaiyou/pdf/r05gaiyou.pdf>

(全体版)

<https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/zenbun/index-pdf.html>

(5) 「昭和モデル」から「令和モデル」の切替えを／男女共同参画白書

政府は16日、令和5年版男女共同参画白書を閣議決定した。白書は、近年、若い世代の理想とする生き方・働き方は変わってきており、それを実現できる社会を作ることが、今後の男女共同参画社会の形成促進において重要と指摘。

今こそ、固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、「男性は仕事」「女性は家庭」の「昭和モデル」から、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会、「令和モデル」に切り替える時であるとしている。

https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/gaiyou/pdf/r05_gaiyou.pdf

(本文)

https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/pdfban.html

◇ 全基連マガジン から

(1) 「東京産業安全衛生大会 Safe Work TOKYO 2023」を開催／東京労働局

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/web_seminar_00009.html

東京労働局は、6月9日、今年7月6日(木)に都内一ツ橋ホール(千代田区一ツ橋)にて、「東京産業安全衛生大会 Safe Work TOKYO 2023」を開催すると発表しました。

(略)

第19回となる本年度は、「第14次東京労働局労働災害防止計画」の初年度にあたり、また、コロナ禍によるオンライン開催が続いていたことから、令和元年度以来4年ぶりに集合形式で開催されます。当日は、第1部として安全衛生活動に取り組む優良企業等の安全衛生表彰が、第2部として取組企業による事例発表や特別講演などが予定されています。

(2) 「男性の家事・育児」に関するアンケート調査結果／経団連

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/040.pdf>

一般社団法人日本経済団体連合会は、6月5日、そのホームページに、今年4月から5月にかけて実施した「男性の家事・育児」に関するアンケート調査(対象は会員企業1,518社、回答企業数278社、回答率18.3%)の結果を取りまとめて公表しました。

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) 肝臓学会が「奈良宣言 2023」を発表

肥満・メタボの人は「脂肪肝」にもご注意ください 検査を受けることが大切

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/c4cooqduerau/cntht64v/>

<一部抜粋>

「脂肪肝」は、肥満やメタボのある人とも関わりが深い。「脂肪肝」になると、動脈硬化や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こされる可能性も高まる。

肝臓の病気は、かなり進行しないと症状があらわれない。早期発見するためには、定期的に検査を受けて、「肝機能検査」で自分の肝臓の状態を知ることが大切になる。

特に普段の生活で、食べすぎや糖質のとりすぎ、アルコールの飲みすぎの多い人は、肝臓の機能を示す「AST」「ALT」「 γ -GTP」という項目をチェックすることが大切だ。

一般的な健康診断で肝機能検査として血液検査で広く測定されているALT値を指標とするのが分かりやすいので、**健康診断などで「ALT>30」であった場合**、かかりつけ医に相談することを呼びかけている。

(2) 「熱中症対策計画」を閣議決定 2030年までに死者数半減

ー職場における熱中症対策も重要な柱にー

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/qzblf9m6dzt8/cntht64v/>

熱中症に関しては、これまで死者数を年間 1,000 人以下に抑えるとする目標を掲げていたが、法律に基づかないものだった。だが、熱中症対策を強化するための改正気候変動適応法が4月に成立したことを受け、今回、関係府省庁が連携し、年間死者数を2030年までに半減するとの目標を掲げて「熱中症対策実行計画」が閣議決定された。具体的な数値目標としては、18~22年の平均の年間死者数 1,295 人を基準とし、30年までに半減させるというもの。

◇ **【From_M】** から 情報提供有難うございます

◆定年後の働き方は再雇用、転職、起業だけではない...専門家が「幸福度が高い」と勧める
第4の選択肢

<https://news.yahoo.co.jp/articles/722b2f508211208cb34691fc954d05723422e1db>

出典=内閣府「令和4年版高齢社会白書」

高齢者人口が増える中、既に過半数の人が70歳まで働いているという統計がある。法政大学大学院教授の石山恒貴さんは「定年後の働き方については、定年再雇用などの勤務継続か転職、または起業という3つの選択肢が示されてきたが、プロジェクトごとに仕事を請け負うフリーランスも選択肢に入れていい」という。

◆65歳でも働き続ける人は「約50%」!

仕事ではお金より「社会とのつながり」が重要?

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0e84908cc6fc4271cdf72886521b4ebba6f549f4>

◆職場でだけ抑うつ状態になる「新型うつ病」が減少

代わりに増えた若手社員からの相談は? 産業医・夏目誠の「ストレスとの付き合い方」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d8086a60ce0850da74171bbf99859416ecd2b878>

◆「伝統的な日本企業は『逆 GAF A な働き方』 企業の DX 化に欠かせない「人材」

<https://article.yahoo.co.jp/detail/266d1b9a25ec154ea5c81cbe42b7d16c602ffd9f>

日本企業において、実際のところ果たしてどれくらいのレベルで DX 化が進んでいるのか。多くの大企業が企業理念として DX を掲げるようになり久しいが、現場では、前時代的なコミュニケーションなくしては業務が進まないという事態が多々ある。

◆日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会

<https://www.oshsme.com/>

令和4年12月10日に日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第56回全国集会を行いました。多くの方のご参加、誠にありがとうございました。

中小企業の皆様に役立てていただくための手軽な取り組み集を掲載しています。

産業保健専門職のいない中小企業においても、手軽に取り組んでいただける分かり易い取り組みを紹介していますので、是非参考になさってください。

○新型コロナ対策はこちら

<https://www.oshsme.com/%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E5%AF%BE%E7%AD%96-%E8%89%AF%E5%A5%BD%E4%BA%8B%E4%BE%8B>

○有害作業対策はこちら

<https://www.oshsme.com/%E8%A4%87%E8%A3%BD-%E6%9C%89%E5%AE%B3%E4%BD%9C%E6%A5%AD%E5%AF%BE%E7%AD%96-%E5%A5%BD%E4%BA%8B%E4%BE%8B-1>

○生活習慣病対策はこちら

<https://www.oshsme.com/%E8%A4%87%E8%A3%BD-%E6%9C%89%E5%AE%B3%E4%BD%9C%E6%A5%AD%E5%AF%BE%E7%AD%96-%E5%A5%BD%E4%BA%8B%E4%BE%8B>

○メンタルヘルス対策はこちら

<https://www.oshsme.com/%E8%A4%87%E8%A3%BD-%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E5%AF%BE%E7%AD%96-%E5%A5%BD%E4%BA%8B%E4%BE%8B>

◆1日10分、好きな言葉を書くだけで自律神経を整える「文字トレ」とは？心に余裕がないときほど背筋を伸ばして

<https://news.yahoo.co.jp/articles/534813ee94de73172c443146ad97f51f05a47e60>

アフターコロナのなか、閉塞感や経済的不安などのストレスから自律神経が乱れ、さまざまな身体の不調に悩んでいる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「文字を書くという行為は瞑想に通じていて、自律神経を整える効果があるのです」と語るのは、筆跡カウンセラーの石崎白龍先生。

◆産業精神保健 一般社団法人 日本産業精神保健学会 2023 年 31 卷 2 号

特集 働く精神障害者への合理的配慮をめぐって

○特集にあたって 田中 克俊

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_63

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_63/pdf-char/ja

○精神障害者の雇用に関する法制度と裁判例 長谷川 珠子

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_65

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_65/pdf-char/ja

○精神障害者支援における合理的配慮の意義 田村 綾子

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_74

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_74/pdf-char/ja

○企業における精神障害者への合理的配慮の実際と課題～企業人事の立場から～境 浩史

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_79

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_79/pdf-char/ja

○合理的配慮について・主治医の立場から 高野 知樹

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_84

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_84/pdf-char/ja

○企業における合理的配慮の実際と課題—産業医の立場から— 鎌田 直樹

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_89

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_89/pdf-char/ja

○当事者から見て必要な合理的配慮 ソルト

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_94

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_94/pdf-char/ja

○米国における合理的配慮—産業保健専門職による支援の実務と役割— 辻 洋志

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.2_99

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/2/31_99/pdf-char/ja

◆AYA 世代のがんの向き合い方 遺伝性乳がん女性が編む「私のチーム」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/93a7d71a48bb12c0f812150b39cfb3356a584205>

遺伝性乳がん患者の加藤那津さん「愛犬」は aibo のさくらちゃんだ（撮影＝グリフィス太田朗子）

「私のチーム」—これは、闘病歴 14 年の遺伝性乳がん患者・加藤那津さん（44）＝名古屋市緑区＝がよく使う言葉だ。

◆国立がん研究センター・希少がんセミナー2023 より 5

AYA 世代とがん—心理・社会的課題 福島安紀＝医療ライター

<https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/cancernavi/report/202306/579038.html>

- ◆「被扶養者の国内居住要件等について」の一部改正について
(令和5年6月19日保保発0619第2号・年管管発0619第1号) (PDF,284KB)
【年金局事業管理課 健康保険法関係】
<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T230620T0030.pdf>

- ◆動画で学ぶ「職場環境等の改善」 |
こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト
https://kokoro.mhlw.go.jp/improve_work_environment/

メンタルヘルス対策の中で、職場環境の役割は重要です。

このコンテンツでは、「職場環境等の改善」を通じたストレスの低減をテーマに、職場環境等への取組みについてご紹介します。※動画の再生時間は、およそ3～5分です。

(1)職場環境等へのアプローチのポイント |

- (2)職場環境改善 5つのステップ
- ステップ1. 職場環境等の評価
 - ステップ2. 職場環境等のための組織づくり
 - ステップ3. 改善計画の立案
 - ステップ4. 対策の実施
 - ステップ5. 改善の効果評価

- ◆13年で約10倍！増えたのは本当に「発達障害」？ 間違われる子どもが増えている理由を小児科医が解説

<https://news.yahoo.co.jp/articles/13e03bae12cb9d8005917a4ef97a038a0f603888>

増えたのは本当に「発達障害」？

『「発達障害」と間違われる子どもたち』（青春出版社）の著者であり、子育て支援事業「子育て科学アクセス」の代表である小児科医の成田奈緒子さんにインタビュー

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤（メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com